

## 本論文に出てくる略語・記号表

論文を理解するために、本論文に出てくる音声学の用語及び様々な記号・略号の意味を補足する。

略語記号	意味	備考
[ ]	音声表記は、[ ]でくくって記す。	音声表記には、精密表記 (narrow phonetic transcription) と簡略表記 (broad phonetic transcription) がある。本論文では、簡略表記を使用する。
//	音素表記は、//でくくって記す。	
/Q/	促音	IPA で促音を音声表記する場合、例) [katta]、[katːa]と表記するが、[katta] が広く用いられている。
/R/	長音	長音の音韻表記は引く音の意味の/H/ もあるが、本論文では、より一般的である/R/を用いる。
/N/	撥音	本来、N は small capital で表記した /N/ であるが、本論文では、便宜上大文字の N をそのまま代用する。
□	アクセント核のある位置を表す。	例) /i□.a/ は /i/ にアクセント核があることを示す。
.	音節またはモーラの境界	例) /kon.bu/
/a/+p,t,k/	+は接続を意味する。	例) /apa/、/ata/、/aka/ など 1 × 3 × 5
+/a,i,u,e,o/		= 15 の実験語のリストを表す。
C 及び CC	C は単子音または非促音を、CC は重子音または促音を意味する。	
V	母音は Vowel の頭文字をとって V と表記する。	